令和7年度　三郷市学校評価システム　本評価：学校関係者評価シート

評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.63	4.00	学校教育目標を具現化するべく、合い言葉に「やればできる」を掲げ、組織的に生徒一人一人を認め、伸ばす教育の推進に取り組んだ。校区の小学校と連携したあいさつ運動、地域貢献部の積極的な地域行事への参加、学校だより、HP等で積極的に情報発信・周知を行い、学校教育目標の実現を図った。引き続きPTAや地域との連携を図り、本校の更なる発展につなげていく。
		2	学校は、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.58		教職員、生徒、保護者を対象に学校独自の学校評価を行い、前年度の取組を分析し、校務分掌ごとに、目標達成に向けてPDCAサイクルを機能させて改善に取り組でいる。生徒の実態をとらえ、教育活動の充実を目指し全教職員が共通理解を図り、取り組んでいる。
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.53		地域貢献部は地域の夏祭りのイベント等、様々なイベントに参加し、和太鼓を披露して地域の一員として貢献した。また、彦糸小及び彦郷小との小中連携教育も継続し、あいさつ運動、合同研修会、ボランティア活動等、特色ある教育活動を展開した。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.37	3.83	職場体験学習やプロの方を招いて講演、演奏や実技指導等を行う中で、本物にふれて豊かな心や夢を育む教育に取り組んだ。また、ハイパーカゴスタを計画的に年間計画に位置付ける等、学力向上に組織的に取り組み充実を図った。引き続き生徒が将来に関心をもち、夢の実現を目指す環境をつくるために支援していきたい。
	資質向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.95		全国的に話題になった不祥事の情報提供を随時行い、服務規律の遵守に向けて積極的に啓発を行った。定期的に行う不祥事防止に係る研修会では、最新の資料を活用して内容をより充実させ、心に響くように工夫を図った。年間を通し、教職員の共通理解を図り、事故防止への高い意識を共有することで風通しのよい職場づくりがなされている。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.58		計画的に校内研修を行い、全教職員又は各教科で日頃の指導を振り返り、指導法改善を図ったり、タブレット端末を活用した学びの充実につながる授業づくりを考えたりし、授業の質の向上に努めた。引き続き課題の明確化と振り返りを充実させ、確実に力をつける授業づくりを目指す。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.32		定期的な研修及び日頃のICTサポーターとの連携により、タブレット端末、ICTによる映像や音声教材の積極的な活用を通して、主体的で対話的で深い学びにつながる授業を目指し生徒の学力向上を図った。また、研究校への視察を行い情報共有をし授業改善に役立てた。今後、更に教師の相互参観を進めタブレット端末を効果的に活用し、授業の充実を図ることで学力向上に確実につなげたい。
		8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.26		市教育委員会の授業の心得、三郷の授業づくりチェック10をもとに、課題の明確化や振り返りの充実をポイントとして、一授業で生徒に確実に力をつける授業づくりの徹底を図った。ハイパーカゴスタでは、基礎的・基本的な内容の定着を図った。家庭学習では目標ページ数を設定し、計画的に取り組むよう全校で共通理解を図り指導した。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.53		小中連携の取組を継続させ、全教職員が小中9年間の連続的な学びを意識し随時取組を振り返りながら授業を行ってきた。三郷の授業づくり振り返りチェック10をもとに統一した指導を行い、授業規律の徹底を図っている。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.74	4.00	一定の授業規律に加え、分かる授業の具現化に向けて日々、授業改善を行った。加えて、豊かな心を育む教育課程を編成し取り組んだ。そのため、全ての学級が落ち着いた学習環境の中、生徒の発言等を認め賞賛する温かい雰囲気で経営できている。
	読書のまち三郷	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.47	4.00	学校司書と連携し、様々な教科等・領域で調べ学習や読み聞かせ学習などを行い図書館を活用し授業の充実を図った。館内のレイアウトの工夫、学校行事に関係するテーマごとの展示や図書委員による推薦図書の紹介、各フロアの新しい図書展示コーナーの設置、朝図書を行うなど様々な工夫をしながら読書への興味・関心を喚起する取組を積極的に行っている。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.42	4.00	毎週、読み語りボランティアさんにお越しいただき、各クラス月1回の読み語り、朝の会を図書館で行う朝図書など、生徒が読書活動に親しみやすいよう工夫した。朝の読み語りは生徒の落ち着いた生活と読書への興味・関心を高めている。また朝図書はたくさんの本と出合う良い機会となっている。
	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.16		各学級で担任を中心に給食時のマナーとルールについて指導を徹底した。給食の時間も落ち着いており、おかわりの仕方等を含め、しっかりと管理ができている。学校保健委員会では、主に食をテーマにした内容で講演いただいたり、栄養教諭に食育指導をいただいたりし、学校、家庭、関連施設と連携し充実を図った。今後も委員会活動を充実させて給食の残菜の減少に努める。また、家庭科、保健体育科等においても食育指導を充実させていく。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.26	3.50	体育科教員が教科会を設定し授業の充実を図った。加えて、昼休みの外遊びを推進することで、時間と空間と仲間の要素を確保し運動の日常化を図り、授業と日常を連動させ体力向上に努めた。また、部活動では、限られた時間で最大の効果が発揮できるように顧問が創意工夫を凝らして指導し、生徒も意欲的に練習に取り組んだ。卓球、陸上、バレーボールでは県大会で活躍する生徒も見られた。
	考え議論する道徳の推進	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.32		全教員がローテーションで道徳の授業を担当することで、より深い教材研究のもと、生徒の心を耕す指導を心がけた。また、実施した道徳の授業の内容を教室に掲示することで、振り返ったり、他の教育活動と関連付けたりすることができるようにしている。クラスは心安らぐ場、他を認める場として、生徒たちが本音を語れる授業や環境づくり等を目指して取り組んでいる。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.42		全教職員が、道徳教育は全教育活動を通して道徳性を養うということを共通理解している。そして、道徳の授業だけでなく、各教科や学級活動、行事、部活動等すべての活動を通して、教職員が生徒の行動を指導、評価・価値づけし、道徳的な判断力や実践力を育み、他者とともによりよく生きる態度等の人間性や社会性の育成に努めている。
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.63		来校者、保護者や生徒等に対しては常に丁寧な言葉をつかいで親切に対応するよう、接遇についてなど適宜共通理解を図っている。また、年度当初に教職員が生徒指導の在り方について共通理解を図った。教職員の誠実な言動により生徒の規範意識は高い。教職員自らが率先垂範し、きれいな教室環境のもとで教育活動が進められるようにしている。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.63	4.00	教職員が、自ら率先して、生徒や保護者にあいさつをするよう共通理解を図った。生徒には登下校時の正門でのあいさつ運動はもとより、日頃、友達や来校者へのあいさつを大切にするよう指導している。現在、廊下ですれ違った際は元気に挨拶ができたり、地域でも挨拶が交わされていてお褒めの言葉をいただいたりしている。育成会の取組も継続し、小中連携したあいさつ運動に取り組んでいる。今後も伝統を継承し、自然にあいさつができる生徒を育んでいく。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.47		教職員は生徒の気持ちに寄り添い、穏やかで丁寧な言葉づかいを意識し、話し方や接し方に十分気をつけ指導している。同様の内容を生徒にも日常の学校生活はもちろん、職場体験などの校外学習では取り立てて指導している。現在、保護者のご協力により、生徒たちは教員などの大人に対して、しっかりとした態度、丁寧な言葉遣いで話すことができる。
	生徒指導	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.37		生徒指導委員会、教育相談部会、運営委員会で情報共有しながら、SC、さわやか相談員をはじめ、第3教育相談室とも緊密に連携を取り、それぞれの生徒の実態にあわせ組織的に対応している。また、スペシャルサポートルームを開設しており教育の機会確保に努めている。教師同士が声をかけ合い常に組織的に迅速、丁寧な対応をするよう尽力している。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.53		生徒の状況に応じた丁寧な対応を心がけ、欠席生徒への連絡や長欠生徒への家庭訪問など、各家庭の状況等に寄り添った指導を行うことで、学校全体としてはとても落ち着いた生活ができている。学校だより、HP、メール配信により情報を発信し、保護者との連携を図るとともに、吉川警察署、児童相談所、市役所の関係課など外部諸機関とも連携を図っている。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.68	3.83	毎月、全生徒を対象に生活アンケートを実施するとともに、毎日の生活記録ノート、日常の観察等から、生徒の心の変容等を把握し、問題の早期発見に努めている。また、特に道徳の授業や学級活動、日常の教育活動の成果により、生徒は互いの良さを認め他者を尊重する意識が高い。多くの生徒が友達のことを考え、しっかりとした態度で生活を送っている。
	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.58		危機管理マニュアルを見直し、交通事故、いじめ、不審者、不登校、信用失墜行為、感染症等の疾病、大地震等の非常変災等に加え水害にも対応できる体制を整えている。週休日や長期休業中の部活動等における事故対応についても、全教職員が報告・連絡・相談を徹底し、組織的に対応できるように共通理解を図っている。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.74	4.00	原則として、毎月21日に安全点検表を教職員に配付し、安全点検を実施している。加えて、日常でも「気づき、見逃さない」という危機管理意識を高め点検を行っている。学校生活に支障をきたしている項目については、早期の対応を心がけ修繕している。また、教職員が修繕等を行えないものについては業者や市役所の関係課に対応をお願いし、安心、安全な教育環境を整備するようにしている。
	教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.42	3.83	清掃活動については、日頃、生徒による校内の清掃、HJRC部による学校内外における清掃など、美化活動に取り組んでおり、きれいである。来校者からもお褒めの言葉をいただいている。掲示教育については、各フロアに生徒の活動の様子が伝わる掲示をし、定期的に張り替え、潤いのある環境づくりを心掛けている。
		26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.11		業務内容の精選、自動採点システム等の業務の効率化、各校務分掌の業務を組織的に行うこと等を通して、総合的に負担軽減を図っている。また、ふれあいデーや定時退勤ウィーク等、県の取組を着実に実施し、働き方改革を進めている。地域や保護者の理解と協力を得て教職員の時間外在校等時間は少しずつ改善することができている。引き続き、業務精選等の工夫改善及び教職員の意識改革を図ることで推進していく。
家庭地域との連携状況	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.58	4.00	平日のホームページ更新と月1回の学校だより発行等により、生徒や教職員の活躍、授業等の様子や教育方針等について、保護者や地域に発信し、毎日100件を超えるアクセス数を記録している。また、学年通信を発行し教育活動の様子を伝えている。引き続き学校の教育活動について情報発信していく。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.11	3.50	校区の小学校での読み語りを実施し幼少期の子供を理解する学習につなげた。また、親になるための学習(性に関する指導)は助産師を講師にお迎えし全学年で行った。加えて幼稚園との交流を図り幼児理解の充実を図った。学校応援団については、PTAバザーや資源回収で御協力をいただいた。引き続き、保護者や地域の方々にご協力をいただき教育活動や教育環境等の充実を図っていく。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.21	3.50	保護者と学校が連携しPTAバザーを開催した。加えて、PTA活動の円滑な運営のために、学校からの情報提供や情報の共有に努めた。地域活動については、地域貢献部が主にはお祭りに参加し和太鼓を披露したり、読み聞かせをしたりするなど、積極的に協力した。今後も地域の活動に積極的に協力していく。

★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。